

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール

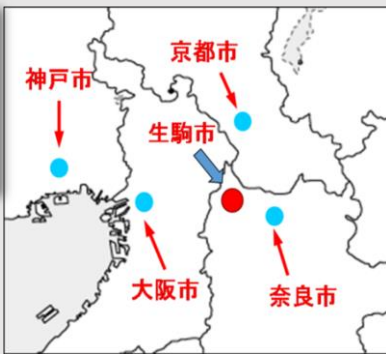


自治体の概要

奈良県北西部に位置する人口約12万人
面積約53km²の住宅都市

特徴

- 1.大都市近郊の住宅都市
- 2.自然豊かで歴史のある街
- 3.高い市民力



今後のビジョン・計画

地域新電力会社「いこま市民パワー」を核とした
日本版シュタットベルケモデルの実現



SDGsに関する特徴的な取組

「いこま市民パワー」を中心とした
電力事業を核とするエネルギーコストの地域内循環の形成・市内経済の活性化

平成29年12月から公共施設、平成30年2月から民間事業所に電力供給を開始。

いこま市民パワー
についてはこちら▼



市役所や消防署など
公共施設



市内の小・中学校や
幼稚園・保育園



民間施設

令和2年9月から
一般家庭への
電力供給を開始



一般住宅

コミュニティサービスによる地域課題の解決

いこま市民パワーは収益を株主には還元
せず、まちづくりに活用。



健康教室の開催



登下校見守りサービスの導入

SDGs普及啓発



SDGs de 地方創生
カードゲームの実施



環境フェスティバルにて
SDGsクイズを実施

100の複合型コミュニティづくりを推進

移動支援、健康づくり、不用品の有効活用など、
様々な機能を持つ複合型コミュニティづくりを
推進。



日常のごみ出しを活用した
地域コミュニティ向上モデル事業「資源回収・コミュニティステーション」

地産電源の積極的活用等による 再生可能エネルギーの普及拡大

いこま市民パワーは、10箇所以上の再生可能エ
ネルギー電源から電力を調達。



小水力発電



太陽光発電



木質バイオマス発電